



今月のねらい

- ・全身を使って夏の遊びを楽しむ。
- ・水分や休息を十分に取り元気に過ごす。

おさかこども園 R3.6.29

へりポート近くのアジサイの花が少しずつ咲き始めました。虫も多くいるので、わくわくタイムには虫取りに出かけて行きます。子ども達といつ咲くか楽しみに待っています。



* 暑くなりますので、7月・8月は園児服を着用しなくてもいいです。

名札は帽子に付けてくるようお願いします。

* 夏用の帽子ですが、指定の麦わら帽子、黄色の安全帽子どちらを被っていたでもいいです。

* 夏季保育を希望される方は7月6日(火)までに担任にご連絡下さい。申請書をお渡しします。申請書は7月13日(火)までに提出して下さい。今年度の夏季保育は8月12日(木)13日(金)16日(月)17日(火)です。14日(土)は土曜保育を申請されている方です。

* 蔓延防止等重点処置区域が解除となりましたので、日曜日は園庭を使っていた方がいいです。

* 保育参観ですが、もうしばらくお待ちいただくことになります。楽しみにしている皆様には申し訳ないです。

年長児の保護者の方には個別懇談を行わせていただきました。ありがとうございました。年少・年中児につきましてはご希望される方に個別懇談をしたいと思います。ご希望の方は担任にお知らせください。日程調整は園の方で行います。その際には、検温をしていただく事になりますので、ご協力をお願いします。

* 暑くなってきましたので、上靴の代りにゴム草履を使用してくださってもいいです。滑らない物・鼻緒のあるもの・足に合うものにして下さい。音の鳴るものはご遠慮下さい。未満児は危ないので草履を使いません。



虫を捕まえることが大好きなちゅうりっぷ組。園庭に出る時は小さな図鑑を脇に抱え、虫取り網を持って探す姿は可愛いです。誰かが虫を捕まえると走って行って「その虫、どこについてる？」と図鑑をみて探します。まだ、飼うことは中々できませんが長谷川さんの駐車場へ虫を捕まえに行った時は「そーっと」行かないと逃げてしまうことや近づいた時に捕まえるタイミング等自分の体で感じていました。この経験は何かをする時に自分の力をどのくらい使えばいいかということがわかってきますね。



大島ゆうゆう倶楽部の方がお花をプランターに植えて持って来て下さいました。園庭の川側に並べています。

皆でお礼をいいました。帰られるとすぐに年少組の T 君が「お水あげなくっちゃ」と水を汲んでお花にあげていました。優しいですね。

6 月の中旬まで、さくら組に2人のお子さんがいましたが、転園されました。お別れの日、さくら組の B 子ちゃんは「先生、私 T 子ちゃんにお別れのプレゼントにお団子あげる」と言ってきました。B 子ちゃんは T 子ちゃんとよく遊んでいたのそういう気持ちを持ったのだと思いました。B 子ちゃんは「先生、お団子入れる箱はあるかな？」箱を探して出すと「これに可愛いハートを書いたり、きれいにしたい」と考えを言いました。しかし、時間がなくおやつの後にもまだ出来あがらず、私はどうしたかなと気になっていました。しかし、担任の先生はおやつになっていましたが、B 子ちゃんの気持ちを優先して箱を完成するまで作っていいことを B 子ちゃんに伝えていました。とても素敵なプレゼントになりました。大人が手伝えば時間内に完成はしましたが、あえて B 子ちゃんの気持ちを大切にし、自分で作ったものをプレゼントする。その子にとって何が今大切か？ということのを常に考えていくことが重要ですね。



子ども達に心が動くような環境や活動を考えていきたいと思っています。「やりたいことを、失敗を恐れずにやって欲しい」と思います。先日、こんなことがありました。鉄棒に年中組の女の子がいて逆上がりに挑戦していました。年長の子も3人位いました。年中の子は出来ないところを年長の子に見られるのが嫌だったようで逆上がりをやめてしまいました。私は「大丈夫やでやってみないよ」というと女の子は「やらない」と言いました。すると年長の子が「練習すればできるよ」「失敗は成功のもと」「難しい言葉を知っていました」「失敗すると出来るようになるよ」とまさに、自分自身が身をもって何度も失敗したけどやり続けた経験を伝えていました。目には見えませんがちゃんと感じ取って、失敗した時の自分はこうだったという事を振り返ってわかり、自信となっているのだと思いました。そして、これからは自分で考えて行動する機会も多くなります。当然失敗もすると思いますが、それでもいいんだと思えるようになるといいですね。そういう経験を今のうちに沢山経験してほしいと思います。



私の手を見て
先生の手、ミミズみたい

シワシワかな？



「先生、僕のあかだし
ぼうし知らない？」

あ、赤白帽子！



* 木のドラムの上に上られるようになった C 君。先生と同じ高さに並んで楽しそうに話していました。私は2人の後姿を見て微笑ましく思いました。C 君はドラムに上がって「世界がみえる」と嬉しそうに話していたようでした。今まで自分が見ていた風景がドラムに上がったことで違うように見えただけでしょうね。これからも、もっともっと色々な世界を見ていくと思うと楽しみです。